

A日程 社会学部(第1・2部) 2/6実施

1995年
カルスト
地形

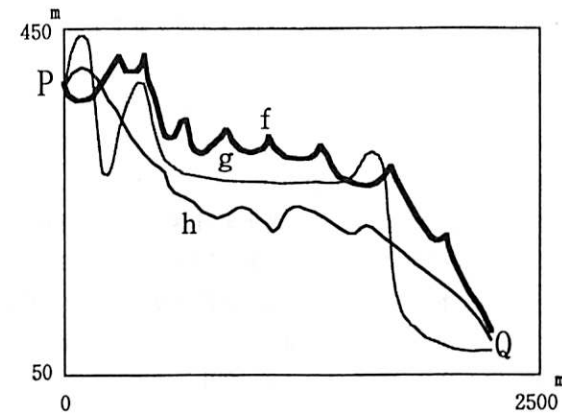
[I] 次の地形図に関連した(A)~(J)の各文の〔 〕の中の語句から最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。(ただし、この図の縮尺は原寸大である)



(243)

- (A) この地形図には〔ア〕笠野原台地 (イ) 牧ノ原台地 (ウ) 平尾台〕と並ぶ代表的な石灰岩台地が認められる。
- (B) 石灰岩台地では溶食地形が見られるが、この地形形成には雨水中の〔ア〕二酸化炭素 (イ) 二酸化窒素 (ウ) 二酸化硫黄〕が関係している。
- (C) この地形図に見当たらない地図記号は〔ア〕史跡・名勝・天然記念物 (イ) 採石地 (ウ) 城跡〕のものである。
- (D) 地形図上の〔ア〕a (イ) b (ウ) c〕の谷底平野は、石灰岩地域と非石灰岩地域の境界をなす。

- (E) 地形図上bの稲川右岸の「里」という集落が立地するd付近は、稲川沿いの低地より多少高くなっている。この地形は、〔ア〕自然堤防 (イ) 河岸段丘 (ウ) 扇状地〕といえる。
- (F) 地形図上のa, b, cの谷底平野のうち、最も急な河床勾配を持つものは〔ア〕a (イ) b (ウ) c〕である。
- (G) 地形図上の秋芳洞西方の台地上にある「木ノ窪」と称されている凹地は、形態からすると〔ア〕ウバーレ (イ) ドリーネ (ウ) ポリエ〕と考えられる。
- (H) 地形図上aやb周辺の谷底平野は、〔ア〕ウバーレ (イ) ドリーネ (ウ) ポリエ〕の一種といえる。
- (I) 地形図上の秋芳洞北西方の台地上にある「矢ノ穴」と称されている凹地は、形態からみて〔ア〕ウバーレ (イ) ドリーネ (ウ) ポリエ〕の一種といえる。
- (J) 地形図上のP-Q間の垂直断面図として示された下図のうち、正しく描かれているのは〔ア〕f (イ) g (ウ) h〕である。



〔Ⅱ〕 林産資源に関する次の文の(1)～(15)に入れるのに最も適当な語句を、下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

日本の森林面積は、国土の約(1)を占め、先進国では高い比率を保っている。そして、そのうち人工林が約(2)を占めている。代表的な林業地として、ヒバの(3), 杉の秋田・吉野・(4), 檜・杉の(5)・天竜などが古くから有名である。日本の森林面積の約(6)は国有林でその多くが北海道、東北などの東日本にある。民有林は、零細な経営者がその大半を占めている。日本の林業は、零細経営、林業労働者の減少と高齢化、高く険しい地形による労働生産性の低さなどにより、その国際競争力が弱い。そのために、日本の木材輸入量は多く世界第(7)位であり、その輸入相手上位3カ国(1991年)はアメリカ合衆国・(8)・カナダである。

世界の森林面積は、陸地の約(6)を占めている。世界の森林帯は、気候帯にほぼ対応して熱帯林・温帯林・冷帯林に大別される。このうち熱帯林は世界の森林面積の約(2)を占め、有用材としては(9)樹の硬木が多い。熱帯林では多数の樹種が混在するため、同一樹種の選別や伐採・搬出が困難などの理由により開発が遅れた。東南アジアの(10)・(11)・紫檀・黒檀、カリブ海沿岸の(12)などが代表的な樹種である。(11)は油分を含むため腐敗し難く船用材などに用いられる。森林の乱伐や過剰な(13)耕作などが原因で、世界の森林破壊が進んでいる。東南アジアの有用材(10)の主要産地は、1960年代はフィリピンの(14)島であったが、その後はインドネシアの(15)島に移った。

〔語群〕

- | | | | | |
|-----------------|------------|-----------|------------------|-----------|
| (ア) 1 | (イ) 針葉 | (ウ) 旧ソ連 | (ロ) 3分の2 | (エ) マホガニー |
| (カ) 2 | (キ) 広葉 | (ク) チーク | (ケ) 5分の4 | (コ) ミンダナオ |
| (ク) 木曾 | (ク) 落葉 | (ク) ラワン | (セ) ユーカリ | (ク) コルクガシ |
| (ク) 津軽 | (ク) 階段 | (ク) 5分の1 | (ク) ネグロス | |
| (ト) マングローブ | (ク) 能代 | (ク) 焼畑 | (ク) 3分の1 | |
| (ク) スラウェシ(セレベス) | (ク) ケブラッチョ | (ク) 日田 | | |
| (ク) タイ | (ク) 2分の1 | (ク) マレーシア | (ク) カリマンタン(ボルネオ) | |

〔Ⅲ〕 朝鮮半島に関する次の(A)～(C)の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な地名を、下記の語群から選びその記号をマークしなさい。

(A) ユーラシア大陸の東に突出している朝鮮半島には山地や丘陵が多い。北東部には、(1)高原を中心とする山地が広がり、中華人民共和国との国境には最高峰の(2)山がそびえている。(1)高原の東側の(3)山脈は半島の東部を南下し、(4)山脈へと続いている。

(B) 山地が主として北東部と東部に多いということもあって、朝鮮半島では西部と南西部に平野が広がり、かなりの規模をもった河川が存在している。朝鮮民主主義人民共和国と中華人民共和国との境界のうち東方にはトマン(豆満)川、西方には(5)川が流れているが、(5)川とその支流にはスーポン(水豊)ダムが建設され、朝鮮民主主義人民共和国の工業を発達させる原動力となってきた。また首都ピョンヤン(平壤)の位置している平野部にはテードン(大同)川が流れている。一方、大韓民国においても首都ソウルの市街地の南部には(6)川が流れ、内陸工業都市テグ(大邱)はナクトン(洛東)川流域に位置している。

(C) かつて朝鮮民主主義人民共和国・大韓民国の主たる産業は農業であった。しかし、近年では工業の発達も著しい。朝鮮民主主義人民共和国においては、(5)川下流に位置し中華人民共和国との鉄道交通の拠点でもあるシニジュ(新義州)、東海岸のチョンジン(清津)、フナム(興南)を外港とする(7), ウォンサン(元山)などが工業都市として知られている。また大韓民国ではソウルをはじめとして、その外港でもある(8)や、この国の第2の都市(9), (9)の北北東の自動車工業などで知られる(10)など、数多くの都市で各種の工業が発達している。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| (ア) クム(錦) | (イ) テベク(太白) | (ウ) キョンジュ(慶州) |
| (ロ) ハン(漢) | (エ) ハムフン(咸興) | (ク) チェジュ(済州) |
| (カ) プヨ(扶余) | (ク) ウルサン(蔚山) | (ケ) ハムギョン(咸鏡) |
| (コ) ケーマ(蓋馬) | (ク) コンジュ(公州) | (ク) ヤールー(鴨綠) |
| (ク) プサン(釜山) | (セ) テジョン(大田) | (ク) チョンチョン(清川) |
| (ク) ベクト(白頭) | (ク) インチョン(仁川) | |

2008年 地理

〔I〕 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。

カルスト地形は、溶食によって(1)岩地域に形成された地表と地下の地形とされる。つまり、カルスト地形は主に(2)的作用によって形成された侵食地形ということになる。

降水は空気中の(3)素を吸収して弱酸性となつてはいるが、土壤空気中の(3)素の割合は大気中と比べて非常に大きく、これは(4)遺体の分解などにかかわる腐植酸などと共に、溶食の主要な因子となっている。つまり、カルスト地形は地表に広く(4)と土壌が分布していることでより活発に形成されることになる。

図には地表と地下の地形、割れ目や水の流れる方向が示されている。地表付近のaには、(5)と呼ばれる様々な直径のすり鉢状凹地が見られる。この凹地がつながったり崩落したりして、ついには、図の右方の地表河川が流れるほどまでに侵食されて形成された盆地bは(6)と呼ばれる。先の文の下線で示した割れ目や崩落は(7)的作用に基づくものである。

地下の横方向に伸びる横穴〔ア c (イ) d〕は洪水時には地表の河川と同様に削られる。横穴〔ア c (イ) d〕はこのようにしてできた横穴が離水したものである。

このような考えを採用すると、カルスト地形の形成には(7)的作用も重要な働きをしていることになる。さらに、(8)洞内の(8)石などは広く知られているが、これは堆積地形にあたるものである。

問(A) (1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

〔語群〕

- | | | | |
|--------|----------|---------|----------|
| (ア) 窒 | (イ) 動物 | (ウ) 鍾乳 | (エ) ポリエ |
| (カ) 石灰 | (ク) 化学 | (キ) 火山 | (コ) ウパーレ |
| (ケ) 酸 | (ク) ドリーネ | (カ) ノッチ | (シ) 二酸化炭 |
| (ク) 物理 | (セ) 植物 | | |

問(B) 横穴〔ア c (イ) d〕と横穴〔ア c (イ) d〕の〔 〕中の語句のうち、^①いづれが正しいか。^②正しいものを選び、その記号をマークしなさい。

問(C) 下記の(ア)～(ウ)のカルスト台地について、()内に示したそれぞれが分布する県名で不適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 秋吉台(山口県) (イ) 平尾台(福岡県)
 (ウ) 喜界島百之台(沖縄県)

